



「学びの機会を守る」

校長 飯田 雅人

今年も残すところ1か月余りとなりました。去年の今頃は、2020年がコロナ禍でまさかこんなにも不安な世の中になるとは誰も想像できませんでした。そんな中でも、今は様々な制限の中ではありますが、何とかここまで子どもたちが日々の学校生活を送ることができるようになってきています。これも保護者の皆様と地域の皆様のご理解とご協力があったのことと思っています。本当にありがとうございます。

10月18日に午前開催に縮小した形ではありますが運動会を無事に実施することができました。また、11月25日、26日には6年生が1泊2日で日光修学旅行に行ってきました。様々な対策をしながら、そして感染拡大の不安もある中で2度の延期を経ての実施でしたが、修学旅行中の子どもたちの笑顔を見ていると、結果論ではありますが、本当によかったなと思っています。子どもたちは、すごいパワーをもっています。わいわいがやがや登下校する姿が戻ると、それを見て大人たちも元気をもらいます。子どもたちが「修学旅行、楽しかったよ。」って生き生きと帰ってくれば、家族が明るくなります。感染症対策は今後も徹底すべきですが、自粛ばかりをしているのは違うと思います。学校教育は、子どもたちの成長にも、社会への影響も大変大きいものです。だから簡単には手を引けません。学校は学びを保障する。コロナを正しく恐れながら、子どもたちのために大人がやれることは何かと知恵を出し合う。これが大事なのだと思っています。

さて、各学年の各教科の学習進度ですが、臨時休校中の学習の遅れは、夏休みの短縮や各行事が中止または縮小となってしまったこともあり、単元の入れ替えや組み合わせ等の工夫により、その学習内容を11月末までにほぼ取り戻しました。今年度にこれまで4・5年生の宿泊体験学習やにこにこフェスティバル、スクールコンサートや合唱クラブの活動ができなかったことは、学びの機会を守るという視点から考えると本当に残念なことでした。今後も感染拡大防止の観点や横浜市教育委員会策定のガイドラインに沿って学校の教育活動を進めていきますが、できることから少しずつ知恵を出し合って、これまでの教育活動が少しでも早く再開できるよう、努めてまいります。

今後は、新型コロナだけでなくインフルエンザの流行も心配されます。このことに関しては、保護者の皆様におかれましてもご心配のことと存じます。そんな折、PTA 会長の吉田様をはじめ、PTA 役員の皆様からも何か子どもたちのためにできることはないかということで、湿度を保つために各教室にECO加湿器2台を寄贈していただけるお話がありました。大変ありがたいことです。このことにつきましては、この場をお借りし感謝申し上げますとともに、あらためまして保護者の皆様にご報告させていただきます。

さて、来年も目に見える結果だけではなく、そこに向かう過程を大切にし、一人ひとりの目線に合わせた実りが得られるよう、教職員一同、力を合わせて子どもたちを支援してまいります。2020年もあとひと月ですが、12月もよろしく願いいたします。